

令和 5年度

事務事業評価表 ( 令和 4年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 5 年 4 月 17 日

事務事業名		伝統民俗芸能連絡協議会助成事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020202000664
		政策体系上の位置付け				単独/補助	単独	所属課	090701
政策体系	総合計画の施策名	O202 生涯学習・芸術文化活動の推進							文化財課
	政策名	O2 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	O2 生涯学習・芸術文化活動の推進						グループ	文化財G
	手段名	O2 ②親しみを感じる文化振興の推進						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	05	04	02	00	文化財保護事業		
法令根拠						各地区伝統文化保存活用補助金交付要項			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)						単年度繰返し (平成18年度~)			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<p>桜川市内各地で行われている伝統民俗芸能の保存、継承と後継者の育成を図る。市内において未加入の団体を発掘し保存継承を働きかけ加盟を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・総会開催(6月)</li> <li>・加盟団体へ補助金交付(7月)</li> <li>・発表会開催(10月)</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
加入団体へ補助金を交付する。後継者育成活動を支援する。未加入団体発掘へ情報収集。	補助金の交付額	千円	80.00	80.00	197.00	197.00	197.00
	交付申請の団体数	団体	4.00	4.00	8.00	8.00	8.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
加盟団体、未加入団体、市民。	地域の民俗芸能保存団体数	団体	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
	加盟団体数	団体	8.00	8.00	8.00	8.00	8.00
	発表会の参加団体	団体	0.00	0.00	6.00	6.00	6.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市内の伝統民俗芸能の保存継承および後継者の育成に積極的に取り組む。未加入団体の発掘、参加を呼びかけ保存継承意識を高める。	保存団体の参加人数	人	160.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	保存団体の後継者数	人	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	発表会の参加、来場者数	人	0.00	0.00	250.00	250.00	250.00

(3) 投入量(事業費)の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	80	80	197	
		事業費計(A)	千円	80	80	197	
	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績(千円)			05年度事業費 予算(千円)		
	18 負担金補助及び交付金	80		18 負担金補助及び交付金	197	
	合計	80		合計	197	

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	伝統民俗芸能連絡協議会補助金(8団体)	伝統民俗芸能連絡協議会補助金(8団体)	伝統民俗芸能連絡協議会補助金(8団体)

事務事業名	伝統民俗芸能連絡協議会助成事業	事務事業No.	20202000664	所属課	文化財課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成18年度桜川市内で続けられている民俗芸能を保存、伝承、人材育成、交流を図るために発足。加盟希望する団体も徐々に増え、保存継承意識、市の伝統文化としての誇りをもつようになった。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
補助金があることで後継者育成事業が活発化してきた。加盟団体による交流も行われ、発表会の成果が上がっており、市内はもとより市外からも公演依頼が増えている。今年度は、団体の概要・紹介パンフレットの内容の見直し、改訂を実施し、「伝統民俗芸能のつどい」開催時や各団体の発表会等に配布し、広報普及活動に役立っている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地域の文化財の保存継承、活用につながっている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 少子高齢化のため、地域の伝統文化、民俗芸能の保存継承が困難になってきている。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある コロナ禍により発表会が中止となった。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 地域の伝統民俗芸能の衰退、後継者育成活動の衰退につながる。	
効率性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他の文化財と異なる独自の取り組みである。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は最小限度に縮小している。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 貴重な地域資源として、後継者育成や文化財保存につなげるため公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)													
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	伝統民俗芸能は無形民俗文化財としての側面が強いことから、令和3年度より文化財課へ移管した。コロナウィルスの感染状況が改善せず、伝統民俗芸能のつどいは中止し、活動可能な団体での事業実施を行った。													
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり															
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり															
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり															
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)													
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる													
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 コロナウィルスの5類移行などを踏まえ、可能な限り活動を再開する。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果	向上	コスト		維持	削減	維持	増加	低下			
成果	向上	コスト													
	維持	削減	維持		増加										
	低下														
(6) 事務事業優先度評価結果		③													

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>